

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2027年7月20日まで（2020年11月20日設定）	
運用方針	<p>モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国のプレミアム企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、プレミアム企業とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。</p> <p>設定日から2022年6月までは、原則として、株式部分（マザーファンド受益証券をいいます。以下同じ。）への投資からドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。なお、株式部分以外は、原則として、残存期間が1年以内の日本国債や短期金融資産に投資します。2022年7月以降は株式部分を高位に組入れることを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券および日本国債を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合は、制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし） 2020-11（限定追加型）

第3期（決算日：2023年2月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）」は、去る2月24日に第3期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

- ◆当期間の運用で主眼を置いたポイント
- ・当期間の運用は、ロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギー・食料価格の急騰と、インフレ加速に伴う世界的な政策金利急騰の影響を受けました。エネルギー価格の急騰は、エネルギー関連企業への追い風となりましたが、同セクターには当ファンドの投資方針に見合う企業が存在しないことから、同セクターの非保有を継続しました。また、政策金利の急激な引き上げは割高株の下落要因となりました。当ファンドで保有する高クオリティ企業は、相対的に先進国株式指数よりも割高であることが多く、当該指数対比でみたパフォーマンスの悪化要因となりました。インフレ加速の要因である物不足、労働力不足の環境では、「平均的な企業」でも価格決定力を持ち、高クオリティ企業が持つ価格決定力の優位性が評価され難くなりました。また、保有企業の一部では、長期契約で継続的な売上が保証された一方で、契約が更新されるまでは値上げ出来ず、急激なインフレ環境が逆風となりました。
- ・主な投資行動としては、3銘柄の新規組入と3銘柄の全売却を行いました。新規組入は、リスクマネジメントや各種コンサルティングサービスなどを手掛けるAON PLC-CLASS A（米国）などを組み入れました。一方で、金融機関向けのソフトウェアサービスなどを提供するFIDELITY NATIONAL INFO SERV（米国）などを全売却しました。また、当期間における主な業種別の組入比率に関しては、特段の変更はありませんでした。

- ・保有銘柄のうち、市場予想を上回る2022年7-9月期決算を発表したことなどが好感されたLVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI（フランス）の上昇などがプラスに寄与しました。

◆今後の見通し

- ・主として株価の下落により株価収益率（予想PER）は低下したことなどから、今後の株価は企業業績次第で、依然として調整の余地があると考えています。また、地政学的リスクや米国を中心とした中央銀行による金融引き締め等により、現在コンセンサスが形成されつつある世界経済の「ソフトランディング予想」は外れる可能性があります。そうした景気減速局面では、物不足・労働力不足によるインフレが収まることで「平均的な企業」の価格決定力は弱まる一方、当運用の保有銘柄が持つ価格決定力と継続的な売上が再評価されるものと考えています。

◆運用方針

- ・引き続き、継続的な売上と価格決定力の源泉となる無形資産を保有し、高水準の投下資本利益率を維持できる企業に投資します。無形資産は価格決定力や反復的な売上をもたらし、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐久性のあるプレミアム企業に投資するのは理にかなっていると運用チームは考えています。



モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
 インターナショナル・エクイティ運用チーム
 運用責任者
 ウィリアム・ロック



ファンド・マネジャー
 ブルノ・ポールソン

上記は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税金分配	積み金	期騰落中率					
(設定日)	円	円		%	%	%	%	%	百万円
2020年11月20日	10,000	—	—	—	—	—	—	—	8,763
1期(2021年2月24日)	10,013	0	0.1	15.0	—	50.4	—	—	12,235
2期(2022年2月24日)	10,467	0	4.5	75.5	—	—	—	—	10,948
3期(2023年2月24日)	11,226	0	7.3	97.5	—	—	—	—	9,159

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率				
(期 首) 2022年2月24日	10,467	—	75.5	—	—	—
2月末	10,675	2.0	79.1	—	—	—
3月末	11,224	7.2	85.0	—	—	—
4月末	11,198	7.0	89.7	—	—	—
5月末	11,189	6.9	94.2	—	—	—
6月末	11,194	6.9	97.0	—	—	—
7月末	11,588	10.7	97.0	—	—	—
8月末	11,414	9.0	97.2	—	—	—
9月末	10,910	4.2	97.2	—	—	—
10月末	11,642	11.2	97.4	—	—	—
11月末	11,373	8.7	97.4	—	—	—
12月末	10,965	4.8	97.2	—	—	—
2023年1月末	11,065	5.7	97.4	—	—	—
(期 末) 2023年2月24日	11,226	7.3	97.5	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第3期：2022年2月25日～2023年2月24日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第3期首	10,467円
第3期末	11,226円
既払分配金	0円
騰落率	7.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ7.3%の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI（フランス）やSAP SE（ドイツ）の株価が上昇したことや、為替市況で米ドル、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

第3期：2022年2月25日～2023年2月24日

投資環境について

▶ 株式市況

先進国株式市場は下落しました。

期間の初めから2022年5月にかけては、米連邦準備制度理事会（F R B）による金融引き締めに起因する米国の景気後退懸念やウクライナ情勢に対する懸念などから下落しました。

6月から9月にかけては、好調な企業決算などを背景に上昇する局面があったものの、F R Bによる積極利上げへの懸念が高まったことなどを背景に、下落しました。

10月から12月にかけては、軟調な一部経済指標を受けF R Bによる積極利上げへの懸念が後退したことや、堅調な企業決算の発表などを背景に上昇しました。

2023年1月から期間末にかけては、米消費者物価指数（C P I）の上昇率が鈍化し、F R Bの利上げペースが減速するとの期待が高まったことなどから上昇しました。

セクター別では、コミュニケーション・サービスや一般消費財・サービスなどが下落しました。

▶ 為替市況

米ドル、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

米国金利上昇による日米金利差の拡大などを背景に、米ドルは対円で上昇しました。また、日独金利差の拡大や英政府の経済政策に対する懸念が後退したことなどを背景に、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）

株式部分については、設定日から2022年6月までドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行い、その後は高位に組入れることを基本とします。

当期間は、期間の初めから2022年6月までは、定期的に一定金額をモルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券に投資し、組入れを増やしました。

その後は、モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。

実質組入外貨建資産について、為替ヘッジを行いませんでした。

▶ モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむ

ね高位を保ちました。

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

主な新規組入銘柄

AON PLC-CLASS A（米国）：リスクマネジメントや各種コンサルティングサービスにおける、情報蓄積の優位性などを評価して新規に組み入れました。

主な全売却銘柄

FIDELITY NATIONAL INFO SERV（米国）：一部事業の不振などを受け、今後の業績への懸念が高まったことなどから、全株売却しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額的水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第3期
	2022年2月25日～2023年2月24日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,226

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド
受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

▶モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗があることが挙げられます。欧米主要中央銀行による積極的な金融引き締めが続いている点などを踏まえると、足元、高水準にある企業の予想利益（12か月先予想EPS）の下落リスクは高いと見ています。このような環境下で、景気減速局面においても継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

2022年2月25日～2023年2月24日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	166	1.482	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(95)	(0.853)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(65)	(0.584)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(5)	(0.045)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.006	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(1)	(0.006)	
(c) 有価証券取引税	3	0.024	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(3)	(0.024)	
(d) その他費用	2	0.017	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	172	1.529	

期中の平均基準価額は、11,191円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

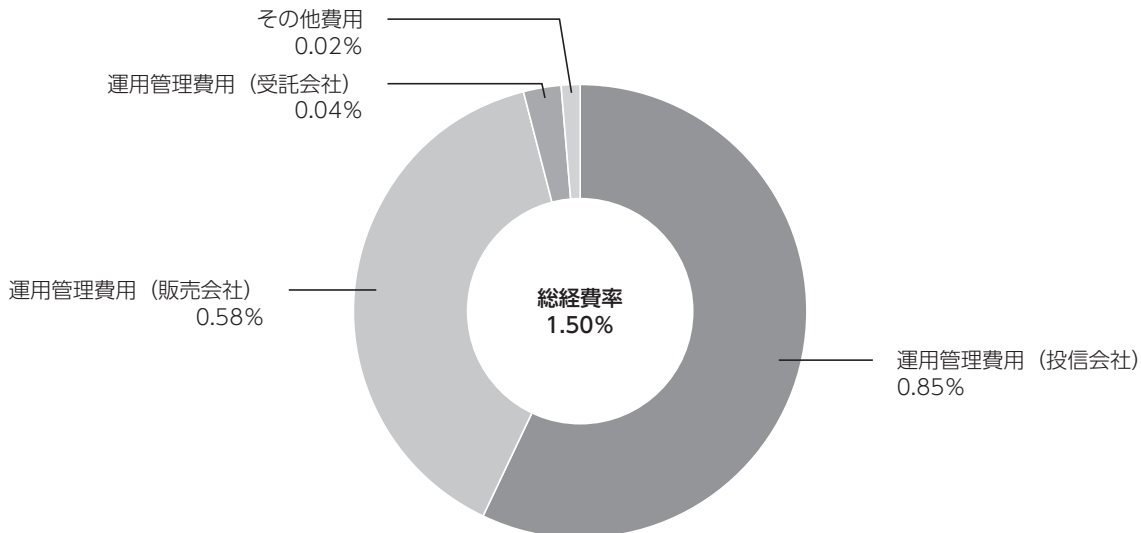
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.50%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月25日～2023年2月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 465,160	千円 2,325,000	千口 506,766	千円 2,627,000

○株式売買比率

(2022年2月25日～2023年2月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	180,554,456千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	289,085,444千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.62	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月25日～2023年2月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年2月24日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数	金額	口数	評価額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 1,793,169		千口 1,751,563	千円 9,112,857

○投資信託財産の構成

（2023年2月24日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	9,112,857	98.1
コール・ローン等、その他	175,272	1.9
投資信託財産総額	9,288,129	100.0

(注) モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（328,369,266千円）の投資信託財産総額（328,506,327千円）に対する比率は100.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=134.19円	1 ユーロ=142.21円	1 イギリスポンド=161.32円	1 スイスフラン=143.78円
1 スウェーデンクローネ=12.88円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年2月24日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,288,129,049
コール・ローン等	116,272,021
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(開關)	9,112,857,028
未収入金	59,000,000
(B) 負債	128,401,454
未払解約金	38,560,234
未払信託報酬	89,672,602
未払利息	207
その他未払費用	168,411
(C) 純資産総額(A-B)	9,159,727,595
元本	8,159,100,837
次期繰越損益金	1,000,626,758
(D) 受益権総口数	8,159,100,837口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,226円

<注記事項>

- ①期首元本額 10,460,666,674円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 2,301,565,837円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1226円です。

○損益の状況（2022年2月25日～2023年2月24日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 245,424
支払利息	△ 245,424
(B) 有価証券売買損益	774,956,788
売買益	955,217,209
売買損	△ 180,260,421
(C) 信託報酬等	△ 154,968,150
(D) 当期損益金(A+B+C)	619,743,214
(E) 前期繰越損益金	380,799,689
(F) 追加信託差損益金	83,855
(配当等相当額)	(124,064)
(売買損益相当額)	(△ 40,209)
(G) 計(D+E+F)	1,000,626,758
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,000,626,758
追加信託差損益金	83,855
(配当等相当額)	(124,064)
(売買損益相当額)	(△ 40,209)
分配準備積立金	1,000,542,903

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2022年2月25日～ 2023年2月24日
費用控除後の配当等収益額	117,432,705円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	502,310,509円
収益調整金額	124,064円
分配準備積立金額	380,799,689円
当ファンドの分配対象収益額	1,000,666,967円
1万口当たり収益分配対象額	1,226円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

- ③「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
- | | |
|--------------------|---------|
| 20億円以下の部分に対して | 年1万分の80 |
| 20億円超40億円以下の部分に対して | 年1万分の75 |
| 40億円超80億円以下の部分に対して | 年1万分の70 |
| 80億円超の部分に対して | 年1万分の65 |

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

《第22期》決算日2023年2月24日

[計算期間：2022年8月24日～2023年2月24日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、
2月24日に第22期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> 信託財産の成長を目指して運用を行います。 運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資割合は、制限を設けません。 同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		米ドル為替		（参考指数） MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	期騰落率	期中騰落率	期騰落率	期中騰落率	期騰落率	期中騰落率			
18期(2021年2月24日)	円	%	円	%		%	%	%	百万円
18期(2021年2月24日)	38,596	4.0	105.41	△ 0.4	25,974	17.3	98.2	—	157,768
19期(2021年8月23日)	46,426	20.3	109.85	4.2	28,918	11.3	97.6	—	210,406
20期(2022年2月24日)	47,149	1.6	114.95	4.6	27,470	△ 5.0	97.8	—	239,602
21期(2022年8月23日)	54,250	15.1	137.30	19.4	26,082	△ 5.0	97.9	—	312,686
22期(2023年2月24日)	52,027	△ 4.1	134.19	△ 2.3	26,282	0.8	98.0	—	328,138

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）（出所：MSCI）の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)		株 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2022年 8月23日	54,250	—	137.30	—	26,082	—	97.9	—
8 月 末	52,427	△3.4	138.63	1.0	25,223	△ 3.3	97.7	—
9 月 末	50,174	△7.5	144.81	5.5	22,942	△12.0	97.7	—
10 月 末	53,643	△1.1	148.26	8.0	24,483	△ 6.1	97.9	—
11 月 末	52,475	△3.3	138.87	1.1	25,496	△ 2.2	97.9	—
12 月 末	50,663	△6.6	132.70	△3.4	25,033	△ 4.0	97.6	—
2023年 1 月 末	51,210	△5.6	130.47	△5.0	26,463	1.5	97.9	—
(期 末) 2023年 2月24日	52,027	△4.1	134.19	△2.3	26,282	0.8	98.0	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

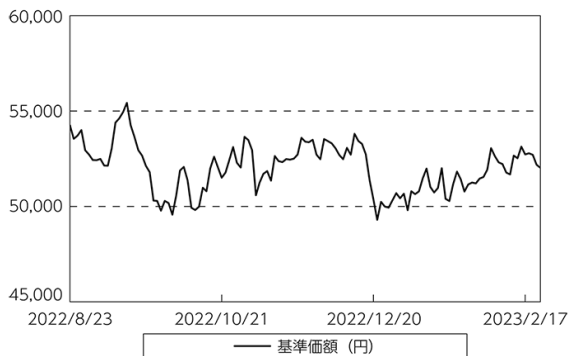
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ4.1%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

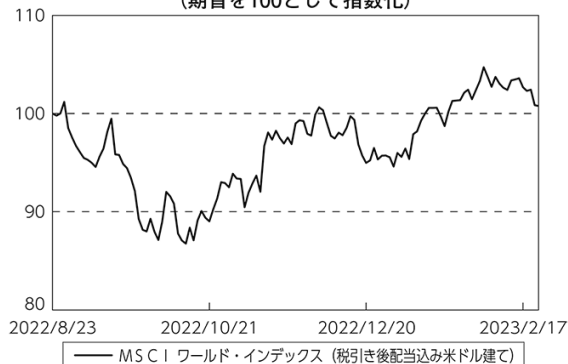
米連邦準備制度理事会 (FRB) による利上げペース鈍化への期待が高まったことなどを背景に先進国株式市場が上昇したことや、SAP SE (ドイツ) や LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI (フランス) の株価が上昇したこと、為替市況でユーロが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

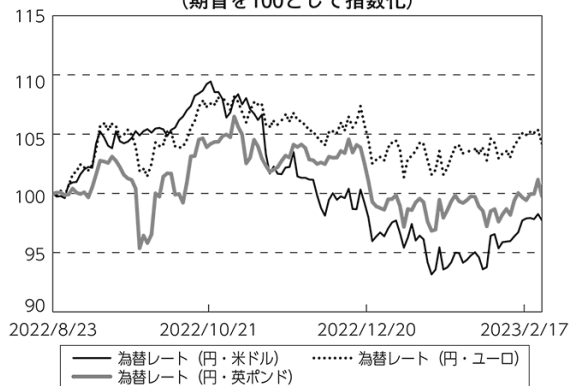
RECKITT BENCKISER GROUP PLC (英国) や BAXTER INTERNATIONAL INC (米国) の株価が下落したことや、為替市況で米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

参考指数の推移
(期首を100として指数化)



為替市況の推移
(期首を100として指数化)



◎株式市況

- ・先進国株式市場は上昇しました。
- ・期間の初めから2022年12月にかけては、好調な企業決算などを受けて上昇する局面があったものの、FRBの積極利上げを背景とした、米景気後退懸念の高まりなどから下落しました。
- ・2023年1月から期間末にかけては、米消費者物価指数（CPI）の上昇率が鈍化し、FRBの利上げペースが減速するとの期待が高まったことなどから上昇しました。
- ・セクター別では、金融や素材などが上昇しました。

◎為替市況

- ・米ドルは対円で下落し、ユーロは対円で上昇しました。英ポンドは対円でほぼ変わらずとなりました。
- ・FRBの利上げペース鈍化観測などを背景に、米ドルは対円で下落した一方、日独金利差の拡大などを背景に、ユーロは対円で上昇しました。また、英ポンドは、日銀の金融政策修正などが下落要因となった一方、英政府による経済政策への懸念が後退したことなどが上昇要因となり、期間を通してみると対円でほぼ変わらずとなりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎主な新規組入銘柄

- ・ AON PLC-CLASS A (米国) : リスクマネジメントや各種コンサルティングサービスにおける、情報蓄積の優位性などを評価して新規に組み入れました。

◎主な全売却銘柄

- ・ FIDELITY NATIONAL INFO SERV (米国) : 一部事業の不振などを受け、今後の業績への懸念が高まったことなどから、全株売却しました。

○今後の運用方針

- ・ 不透明な環境下、「プレミアム企業」への投資を継続します。「プレミアム企業」の特長の1つとして、株式市場の下落時における下値抵抗があることが挙げられます。欧米主要中央銀行による積極的な金融引き締めが続いている点などを踏まえると、足元、高水準にある企業の予想利益(12か月先予想EPS)の下落リスクは高いと見ています。このような環境下で、景気減速局面においても継続的に収益を得ることができ、下値抵抗力の高い「プレミアム企業」に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2022年8月24日～2023年2月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.003 (0.003)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	6 (6)	0.012 (0.012)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	4 (4)	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	12	0.023	
期中の平均基準価額は、52,008円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年8月24日～2023年2月24日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 19,611	千アメリカドル 346,319	百株 20,289	千アメリカドル 205,388
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	1,354	13,295	235	2,539
	フランス	1,572	38,231	370	23,322
	オランダ	6,719	16,097	393	1,480
	イギリス	1,793	4,731	110	311
	イギリス	11,879	千イギリスポンド 35,941	2,516	千イギリスポンド 13,104

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2022年8月24日～2023年2月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	97,299,708千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	308,679,499千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.31

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年8月24日～2023年2月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年2月24日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	7,714	8,536	87,540	11,747,028	ヘルスケア機器・サービス	
AUTOMATIC DATA PROCESSING	2,624	2,784	62,032	8,324,160	ソフトウェア・サービス	
ACCENTURE PLC-CL A	3,759	4,089	110,929	14,885,635	ソフトウェア・サービス	
BAXTER INTERNATIONAL INC	12,781	6,819	27,623	3,706,860	ヘルスケア機器・サービス	
BECTON DICKINSON AND CO	3,217	3,345	80,201	10,762,231	ヘルスケア機器・サービス	
COCA-COLA CO/THE	7,186	7,133	42,866	5,752,266	食品・飲料・タバコ	
DANAHER CORP	4,477	4,898	123,689	16,597,893	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
EQUIFAX INC	1,929	2,379	48,682	6,532,693	商業・専門サービス	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	1,216	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品	
MOODY'S CORP	826	1,068	31,462	4,222,016	各種金融	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	5,053	4,688	65,663	8,811,431	家庭用品・パーソナル用品	
ROPER TECHNOLOGIES INC	1,139	1,375	59,298	7,957,279	ソフトウェア・サービス	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1,838	2,018	111,215	14,923,983	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	5,329	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
NIKE INC -CL B	2,757	2,058	24,691	3,313,286	耐久消費財・アパレル	
MICROSOFT CORP	7,318	8,861	225,754	30,293,962	ソフトウェア・サービス	
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	8,310	9,243	95,910	12,870,181	各種金融	
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIO	1,924	2,281	32,612	4,376,268	ソフトウェア・サービス	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	16,402	17,958	179,277	24,057,248	食品・飲料・タバコ	
VISA INC-CLASS A SHARES	6,517	6,929	153,235	20,562,622	ソフトウェア・サービス	
ZOETIS INC	1,471	1,617	27,417	3,679,173	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CDW CORP/DE	—	1,698	34,763	4,664,914	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
STERIS PLC	459	1,667	31,323	4,203,290	ヘルスケア機器・サービス	
AON PLC-CLASS A	—	1,374	41,849	5,615,792	保険	
OTIS WORLDWIDE CORP	4,534	5,282	44,359	5,952,590	資本財	
小計	株数・金額	108,789	108,112	1,742,401	233,812,812	
	銘柄数<比率>	23	23	—	<71.3%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
SAP SE	10,745	11,864	129,090	18,357,966	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額	10,745	11,864	129,090	18,357,966	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<5.6%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	837	682	55,187	7,848,221	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	1,176	1,293	49,729	7,071,969	家庭用品・パーソナル用品	
PERNOD RICARD SA	1,975	3,215	65,142	9,263,984	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	3,988	5,191	170,059	24,184,176	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<7.4%>	
(ユーロ…オランダ)						
DAVIDE CAMPARI-MILANO NV	8,318	13,630	14,624	2,079,819	食品・飲料・タバコ	
HEINEKEN NV	5,190	6,205	60,364	8,584,487	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額	13,508	19,835	74,989	10,664,307	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<3.2%>	

銘柄	株数	金額	当期		業種等		
			株数	金額		期末	
						評価額	比率
(ユーロ…イギリス)	百株	百株	千ユーロ	千円	商業・専門サービス		
RELX PLC	3,872	5,555	16,026	2,279,156			
小計	株数・金額	3,872	5,555	16,026		2,279,156	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.7%>		
ユーロ計	株数・金額	32,115	42,446	390,166	55,485,606		
	銘柄数<比率>	7	7	—	<16.9%>		
(イギリス)			千イギリスポンド		商業・専門サービス 家庭用品・パーソナル用品 商業・専門サービス		
RELX PLC	14,784	21,165	53,802	8,679,435			
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	19,859	19,976	115,186	18,581,861			
EXPERIAN PLC	7,840	10,704	31,266	5,043,954			
小計	株数・金額	42,483	51,846	200,255	32,305,250		
	銘柄数<比率>	3	3	—	<9.8%>		
合計	株数・金額	183,388	202,405	—	321,603,669		
	銘柄数<比率>	33	33	—	<98.0%>		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2023年2月24日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 321,603,669	% 97.9
コール・ローン等、その他	6,902,658	2.1
投資信託財産総額	328,506,327	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (328,369,266千円) の投資信託財産総額 (328,506,327千円) に対する比率は100.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=134.19円	1 ユーロ=142.21円	1 イギリスポンド=161.32円	1 スイスフラン=143.78円
1 スウェーデンクローネ=12.88円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月24日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	328,573,035,365	
コール・ローン等	315,593,587	
株式(評価額)	321,603,669,842	
未収入金	6,446,981,256	
未収配当金	206,790,680	
(B) 負債	434,917,750	
未払金	67,042,262	
未払解約金	367,875,244	
未払利息	244	
(C) 純資産総額(A－B)	328,138,117,615	
元本	63,070,879,204	
次期繰越損益金	265,067,238,411	
(D) 受益権総口数	63,070,879,204口	
1万口当たり基準価額(C/D)	52,027円	

<注記事項>

- ①期首元本額 57,638,361,999円
 期中追加設定元本額 11,844,356,240円
 期中一部解約元本額 6,411,839,035円
 また、1口当たり純資産額は、期末5,2027円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	37,505,716,245円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)	13,350,017,239円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	8,999,934,907円
ビルドアップ型 MS グローバル・プレミアム株式(為替ヘッジなし) 2020-11(限定追加型)	1,751,563,040円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	1,400,270,732円
ビルドアップ型 MS グローバル・プレミアム株式(為替ヘッジなし) 2023-02(限定追加型)	63,377,041円
合計	63,070,879,204円

○損益の状況 (2022年8月24日～2023年2月24日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	2,131,332,541	
受取配当金	2,039,507,683	
受取利息	88,492,139	
その他収益金	3,727,044	
支払利息	△ 394,325	
(B) 有価証券売買損益	△ 14,592,200,877	
売買益	12,584,800,659	
売買損	△ 27,177,001,536	
(C) 保管費用等	△ 25,017,010	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 12,485,885,346	
(E) 前期繰越損益金	255,047,848,979	
(F) 追加信託差損益金	49,619,994,283	
(G) 解約差損益金	△ 27,114,719,505	
(H) 計(D+E+F+G)	265,067,238,411	
次期繰越損益金(H)	265,067,238,411	

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。